



## 金沢星稜大学生が道の駅「めぐみ白山」で地域活性化を考えます

○国土交通省が全国で進めている道の駅と大学との交流・連携の一環として、金沢星稜大学、道の駅「めぐみ白山」及び金沢河川国道事務所の3者が道の駅をフィールドに調査を行います。

○この取り組みは、観光・地域づくりを担う将来の人材を育成するとともに、道の駅が地域活性化の拠点として更に進化を遂げるため、大学生が道の駅の付加価値を創出するための企画・立案等を実施するものです。

### 【主な調査内容】

- ① 交通量・動線調査
- ② 持続可能な開発目標(SDGs)商品調査
- ③ 情報コーナー調査
- ④ 物販コーナー調査
- ⑤ 道路案内表示調査

※詳細については別紙「参考資料」をご覧ください。

### 【調査担当者】

しん

あおき

金沢星稜大学経済学部 新ゼミナール3年(14名)、青木ゼミナール3年(15名)【予定】

### 【スケジュール】

8月30日(木)～31日(金)の2日間に現地調査を行います。

- ・30日(木) 13:00頃～17:00頃
- ・31日(金) 9:30頃～12:30頃

### 【報道関係の皆様へ】

当日取材をされる場合は、30日(木)13:00に道の駅「めぐみ白山」にお集まりください。

道の駅「めぐみ白山」の住所：〒924-0033 石川県白山市宮丸町2183

※なお、取材時間・場所に関して個別にご要望がある場合は、事前に下記の 金沢河川国道事務所【問い合わせ先】まで、ご連絡をお願いします。

### 【問い合わせ先】

#### ●実施内容に関する問合せ

・金沢星稜大学経済学部 教授 新 広昭

TEL:076-253-3924(代表)

・白山市 産業部 道の駅推進室 室長 大藪 清史

TEL:076-274-9539(産業部 道の駅推進室直通)



#### ●「道の駅」と大学との連携に関する問合せ

・金沢河川国道事務所 建設専門官 高島 勝志

かなざわ さいねん

金沢市西念4丁目23番5号

TEL:076-264-9918(道路管理第二課直通)FAX:076-233-9632



# 道の駅「めぐみ白山」と金沢星稜大学との連携

## 【調査内容】

### ①交通量・動線調査

道の駅「めぐみ白山」を利用する方に対して、どこから訪れたか聞き取りすると共に、道の駅の施設内をどの順序で利用したかを調査する。

### ②持続可能な開発目標(SDGs)<sup>※1</sup>商品調査

白山市は「SDGs未来都市」<sup>※2</sup>に選定され、環境に調和した持続可能な経済発展や豊かな生活の実現を目指している。道の駅「めぐみ白山」の販売商品がSDGsの17の目標とどのように関連づけられるか、商品の説明書やポップを調査する。

### ③情報コーナー調査

情報提供コーナーでは、道路交通情報の他に「白山手取川ジオパーク」や「JR西日本 白山総合車両所」の情報等を発信しているが、利用した方の情報に対する認知度を調査する。

### ④物販コーナー調査

物販コーナーで販売されている白山市の特産品を把握すると共に、購買量や陳列・販売方法等に対する評価を行い、新たな商品開発や既存商品のリニューアルに繋げる。

### ⑤道路案内表示調査

道路案内表示の中で道の駅「めぐみ白山」に関するものの視認性や有効性を調査する。



大学生が道の駅「瀬女」の入り口で利用する方にアンケートを実施【昨年】



大学生が道の駅「瀬女」で商品内容・展示方法等の現状調査と改良の提案【昨年】



道の駅「めぐみ白山」

※1 持続可能な開発目標(SDGs)  
SDGs: Sustainable Development Goals  
2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193ヶ国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

※2 SDGs未来都市  
2018年6月15日、公募の結果、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する29都市を「SDGs未来都市」として内閣府が選定しました。